

とくしま産学官連携プラットフォーム 2024年度 実施状況報告書

1. 各ワーキンググループの年度計画の達成度			
	第1 WG	第2 WG	第3 WG
取組内容	3	3	3
年度計画	3	3	3
※達成度（4段階）：4（計画を上回って実施）、3（計画通り実施）、2（計画を下回って実施）、1（未実施）			
2. 各WGにおける優れた点・特色ある点、今後の課題			
	第1 WG	第2 WG	第3 WG
特色ある点	<p>a-③.県内高等教育機関のオープンキャンパス開催日時を記載したポスターを合同で制作し、県内38校の高等学校に掲示し周知した。</p> <p>b-③.参加校共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」において、高等教育機関の学生123名に加え、県内の高校生26名が受講した。</p>	<p>b-④.地域の課題解決を目的とした特色あるフィールドワークを実施し、その活動の学生報告を県内高等教育機関の教職員を対象としたFD・SDにおいて実施することにより、大学外で実施する体験型の地域教育の効果や重要性について広く周知する効果を得られた。</p>	<p>a - ②.県内の高校4校の高校3年生約800名に対し、進路意識等を問う共同でのアンケート調査を実施した。</p> <p>b-③.県内の高校及び中学校を対象とした共同での出張講義を実施した。</p> <p>C - ②.県内の高等教育機関を講師に産業界のニーズに対応したリカレントプログラムを実施した。</p>
今後の課題	<p>a-④.県内高校との高大接続対策への議論が十分に出来ておらず、IR調査結果から新たな企画を打ち出し、施策に反映するサイクルが構築出来ていない。</p>	<p>a-②、③、⑤の共同研究関連分野において、わずかにKPIに届かなかった。</p>	<p>a-⑤.共同利用が限定的であり、各高等教育機関において共同利用施設及び物品についての周知徹底を行うこと求められる。</p>
3.実施状況を踏まえたワーキンググループ運営に関する課題と改善策			
<p>≪課題≫</p> <p>5ヵ年の取組期間を振り返り、取組項目の再設定や運用面での効率化が課題である。</p>			
<p>≪改善策≫</p> <p>各参画機関から取組施策や目標値、運営面における意見を聴取、見直しを行うことで、外部環境の変化や各参画機関の実情に即した計画立案に努める。</p>			
4.その他（評価・検証部会への報告事項等）			
<p>第一期中長期計画(2019-2023)の見直しを行うとともに、令和6年度より第二期中長期計画(2024-2028)を策定し推進する。</p>			